

図書館だより 5月

ワシントン日本語学校図書館 (tosho@wils.org)
開館時間 9時～4時

令和5年5月号



(公益社団法人
読書推薦運動協議会
HPより)

4月23日～5月12日は「こども読書週間」です。
こどもたちにもっと本を！との願いから、「こども読書週間」は1959年（昭和34年）にはじまりました。小さいときから本を読む楽しさを知っていることは、みんなが大きくなるためにとても大切なことです。また、大人が本をこどもに手わたす週間でもあります。私たちが知らない世界、したことのない経験、人の思いなど、たくさんのことを教えてくれる本。新しい出会いをぜひ探しに来てください。



本を借りてスクラッチカードをもらおう！



ワシントン日本語学校では5月を「こどもの読書月間」とし、期間中本を借りた生徒全員に「なにがでるかな？スクラッチカード」をプレゼントします。（1人1枚まで）保護者の方は子どもの頃に読んだ本を子どもたちにすすめてみてはいかがでしょうか。（生徒のアカウントでの貸出もできます）この機会に図書館を利用して、さまざまな図書に親しみ読書を楽しんでください。

たくさん
よんでね！



今月の 人気シリーズ 貸出案内

「サバイバル/タイムワープ」「発明/実験対決」「漫画」「かいけつゾロリ」については、学年関係なく、生徒それぞれ1人1冊まで借りることができます。放課後対象の本が棚に残っている場合、保護者の方にも貸出できます。限られた本をより多くの生徒に利用してもらいたいため、皆様のご協力をお願いいたします。



漫画の蔵書番号は「18」からはじまります。

4月人気ランキング

- 1 Dr. STONE / 稲垣理一郎
- 2 四つ子くらし / ひのひまり
- 3 5分後に意外な結末シリーズ / 桃戸ハル



4月の貸出状況

貸出利用者	
生徒	544人
保護者	224人
貸出冊数	1,794冊



今月の特集

全国の書店員がいちばん売りたい本を投票で選ぶ2023年本屋大賞が発表され、
 風良ゆうさんの小説「汝、星のごとく」に決まりました。皆さんの予想は当たって
 いましたか？ 受賞作品、ノミネートされた6作品を集めました。

また、新しい本が入ってきました。貸出しカウンター前の棚に展示しています。
 たくさんの生徒たちに読んでほしいため、貸出しは一人一冊とさせていただきます。
 そして今月は、小学5年生担任の安藤先生イチオシの本を紹介していただきました。
 ぜひ手にとってみてください。



【第10回
高校生直木賞候補作】

「汝、星のごとく」 風良ゆう

まともな人間なんてものは幻想だ。俺たちは自ら
 を生きるしかない。
 風光明媚な瀬戸内の島に育った高校生の暁海と、
 自由奔放な母の恋愛に振り回され島に転校してきた
 権。ともに心に孤独と欠落を抱えた二人は、惹
 かれ合い、すれ違い、そして成長していく。生き
 ることの自由さと不自由さを描き続けてきた著者
 が紡ぐ、ひとつではない愛の物語。



「ラフカは静かに弓をもつ」 安壇美緒

少年時代、チェロ教室の帰りにある事件に遭遇し、以来、
 深海の悪夢に苛まれながら生きてきた橘。ある日、上司
 の塩坪から呼び出され、音楽教室への潜入調査を命じら
 れる。目的は著作権法の演奏権を侵害している証拠をつ
 かむこと。橘は身分を偽り、チェロ講師・浅葉の元に通
 い始める。師と仲間との出会いが、奏でる歓びが、橘の
 凍っていた心を溶かしますが、法廷に立つ時間が迫り…
 想像を超えた感動へ読者を誘う、心震える“スパイ×音楽”
 小説！



第168回
直木賞候補作

「光のところにいてね」 一穂ミチ

たった1人の、運命に出会った。
 古びた団地の片隅で、彼女と出会った。彼女と私はなに
 もかもが違った。着るものも食べるものも住む世界も。
 でもなぜか、彼女が笑うと、私も笑顔になれた。彼女が
 泣くと、私も悲しくなった。彼女に惹かれたその日から、
 残酷な現実も平気だと思えた。ずっと一緒にはいられない
 と分かっているが、一瞬の幸せが、永遠となることを
 祈った。どうして彼女しかダメなんだろう。どうして
 彼女とじゃないと、私は幸せじゃないんだろう…。運命
 に導かれ、運命に引き裂かれるひとつの愛に惑う二人の、
 四半世紀の物語。



安藤先生のイチオシ本



「おにのまつり」 天川栄人

毎年8月に岡山で行われる、よさこい的一种「うらじゃ」。コーチ役として地域の踊り連への参加を
 頼まれた中3の由良あさひは、学校では関わることのなかった“問題児”ばかりの4人の同級生と出会う。
 踊りの練習を重ね、温羅（うら）伝説について知るうち、5人は少しずつ理解し合い、それぞれの抱え
 るトラウマを乗り越えていくー。

安藤先生、おすすめコメント

まさに私の青春！ 学校帰りに自転車で駆け巡った岡山の景色が色鮮やかによみがえってきました。
 岡山で一番盛り上がるうらじゃまつりをテーマに、5人の中学生が悩みながらも一致団結して踊りに
 打ち込む姿に胸が熱くなります。めんどくさいな、何も見ないふりして、我慢してそれなりに生きれ
 たらそれでいい、そんな風に日々静かに戦っている人にぜひ読んでもらいたい一冊です。

